

令和5年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【さいたま市立岸中学校】

⑥ 次年度への課題と改善策	
知識・技能	
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

① 目標・策		
	目標	策
知識・技能	・R4年度さいたま市学習状況調査の自校結果より、R5年度調査の国語・数学の「知識・技能」において1pt向上させる。 ・R4英検3級相当の生徒の割合(中3)を、R5年度は0.5%向上させる。	⇒ ・「ドリルパーク」「スタディサプリ」等を活用し、言葉の使い方や特徴に関する事項、基本的な計算等の反復・習熟を行う。 ・英語を活用する機会を意図的に設定する。
思考・判断・表現	・R4年度さいたま市学習状況調査の自校結果より、R5年度国語の「思考・判断・表現」において2pt、数学の「思考・判断・表現」において1pt向上させる。	⇒ ・生徒がレポート等に取り組む際、教師側の評価の観点を示し、生徒が思考したプロセスに対するコメントを付記して、評価する。
主体的に学習に取り組む態度	・R5年度さいたま市学習状況調査「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問項目において、肯定的な回答の割合を90%以上にする。	⇒ ・全ての教科の授業において、生徒の関心を引き出す課題を設定し、解決の見通しをもたせ、自力解決する場を設定する。また、自己の振り返りができる時間を設定する。

次年度に向けて (3月)

目標・策の設定 (4月)

年度末評価 (2月)

⑤ 目標・策の達成状況		評価(※)
知識・技能	<p>調査結果分析(2月)</p> <p>①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等</p> <p>結果提供(2月)</p>	
思考・判断・表現		
主体的に学習に取り組む態度		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

② 全国学力・学習状況調査結果・分析	
知識・技能	・R4年度の自校の結果より、国語+6.5、数学-0.1であった。知識・技能に係る問題の正答率は、国語80%以上、数学70%以上あり、全国と比較しても高い水準にあることがわかった。
思考・判断・表現	・R4年度の自校の結果より、国語+9.3、数学+9.2であった。国語においても数学においても、根拠を明確にして考え、説明することができることを問う問題の生徒率が顕著に高く見られた。
主体的に学習に取り組む態度	・R5年度全国学力学習状況調査「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えをう深めたり、広げたりすることができますか」の質問項目の、肯定的な回答の割合は87.8%であった。より一層、子供の主体の学びとなるよう授業改善に努める。



④ さいたま市学習状況調査結果・分析	
中1	<p>1月 さいたま市学習状況調査結果の校内分析</p> <p>2月 市教委より講師を招聘し「学力向上カウンセリング」研修会を実施予定</p>
中2	
中3	

③ 中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)		
	目標	策
知識・技能	・R4年度さいたま市学習状況調査の自校結果より、R5年度調査の国語で2pt、数学で1pt向上させる。 ・すべての教科授業において、生徒の個別最適な学びの実現を図り、知識・技能の習得させる。	⇒ ・国語では、2週に1度漢字テストを行い、繰り返し学ぶ機会を設定する。 ・数学では、定期テスト前に補習授業を実施する。 ・ALTと生徒の2者で行う対話場面を増やす
思考・判断・表現	・R4年度さいたま市学習状況調査の自校結果より、R5年度国語の「思考・判断・表現」において2pt、数学の「思考・判断・表現」において1pt向上させる。	⇒ ・「じ・し・や・く」の視点のうちの「し:思考する」に焦点を当てた、授業を継続して実施する。 ・学力向上カウンセリングを活用し、生徒の思考を深める授業づくりについて研修する。
主体的に学習に取り組む態度	・R5年度さいたま市学習状況調査「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問項目において、肯定的な回答の割合を、全学年90%以上にする。	⇒ ・校内授業スキルアップ強化月間を設定し、「課題の明確化」「笑顔でほめる」指導に焦点をあてた授業を公開する(6月、10月、2月)。